

平城宮跡歴史公園歴史体験学習館の整備に関する検討委員会（第2回）

<第1回検討委員会の主な意見>

●…出席者のご意見 ■…当日欠席者のご意見

【展示コンセプトに関する意見】

- 「奈良全体にかかる歴史文化」というところが良い。平城京に限らず飛鳥、奈良の町全体の歴史を知る機会が少ないため、そのような施設にできないか。
- もう少し平城宮寄りでも良い。奈良時代を感じるというコンセプトは、いざない館だけでは表現できていないと感じる。平城宮から入った正倉院をテーマにするのも良いのではと思う。正倉院宝物は奈良時代が今に伝わるものであり、理解を得やすくなる。
- 既存施設との連動性を意識したストーリーに沿った誘導があるべきではないか。
- 資料館、遺構館は棲み分けがはっきりしている。歴史体験学習館は平城宮いざない館との棲み分けが重要。
- 平城宮跡には素晴らしい史跡がある。朱雀門ひろばだけ見て帰られることがないように、歴史体験学習館から史跡内に誘導する工夫が必要ではないか。

【展示構成（映像・体験等）に関する意見】

- いざない館の施設がかなり充実しているため、展示は避けて「体験」に重きをおいた方が良い。
- 「体験」のイメージとしてはハンズオン等になるのかと思っているが、体験学習施設としての「体験」というのをどう捉えているのか。その場でなりきるようなものや場所があると、他の施設とは異なる施設として受け入れられやすいのではないか。
- 朱雀門、大極殿の復原等、物理的に空間はあるが、その中でどういったことがされていたかは分からない。昔の行事等を体験することにより、どんな空間だったのかを学ぶものがあったとしても良いのではないかと思う。
- 展示は他の施設でやりつくしているし、復原は進んでいくので、それ以外にまだできていないこととして、触ったり創ったりといった「体験」をやれないか。

- 展示をする、情報発信する、体験をする等、複数の要素があるが、何に一番重きを置くか決めないと進めにくいのではないか。
- 館内では映像等でかつての様子を体感し、その後生きた体験として本物の史跡を見に行くような仕組みとすべき。史跡内にQRコードを設定したり、花マップやカメラマップ等を設置する等が考えられる。
- 体験には「ここでしかできない」という特別感が重要になる。
- 体験学習の要素が大事。小学校で習う歴史と関連させた体験ができないか。
- 日本的な体験は外国人にとっても魅力がある。コスプレはInstagramにあげてPRしてもらえる。
- 映像は作るのに時間や費用がかかるがきられる。
- 体験学習では人を配置する費用が生じる。入場料をとるのか等、施設の運営費用を見込んだ規模での検討が必要である。
- 実体験に近いものとして、朱雀門等の復原建物を活かした皇帝体験等（衣装着用・グループで施設をめぐる等）も良い。

【展示構成（ターゲット層）に関する意見】

- ターゲット層を明確にする必要がある。
- 県外から朱雀門ひろばに来られている観光客の意見は大事。来訪者を対象としたアンケートをしてはどうか。
- 想定するターゲットは修学旅行やインバウンドと考えている。子どもの目線として、修学旅行に来ている学校にアンケートを取ってはどうか。
- 交通不便のため、土日はぐるっとバスを活かして観光客向け、平日は修学旅行向け等、分けた対応を検討するのも手法の一つではないか。

【展示内容に関する意見】

- いつ来ても正倉院宝物の復元品が見られることは非常に価値があり、大きな看板になる。市や県立博物館レベルの基準を満たしていれば正倉院のレプリカ展示は可能ではないか。
- ハイブリッドな施設である必要がある。A I や I C T の活用も必要ではないか。
- 正倉院宝物のレプリカを3Dプリンターで作成すると素材はプラスチックになるため、さわった触感や重さも実物と異なりあまり意味がない。木の宝物は木材でつくる等、実物感があつた方がよい。
- レプリカを置いておくだけでは意味がない。ヘッドマウントディスプレイで正倉院の中にいるという空間をつくり、多数ある宝物のいくつかをレプリカとして手に取れる等、実際に近い体験をして意味がある。
- より近い体験をするためには、建物も正倉院のレプリカにするのがよい。
- 訪問するたびに正倉院宝物のレプリカの内容に変化があればリピーターになるのではないか。

【施設配置等に関する意見】

- 計画地は朱雀大路と大宮通りに面する辻にあたるため、南北交流は、藤原京から平城京に行ったという時間の交流。東西交流は、人の交流で大宮通り側で交流できるスペースを検討すればよい。
- 今は朱雀大路に面しているが閉じた施設であり閉鎖的な建物となっている。その延長線で進めるのか、外に向けて人を取り込むような計画とするのか、大宮通りとコラボした開けたロケーションを活かした施設のあり方も検討が必要ではないか。

以上